

平成 26 年度「スラブ・ユーラシア地域(旧ソ連・東欧)を中心とした総合的研究」共同利用型
研究成果報告書

「中世スラヴ語文献(主に法律文献)における命令表現」

田中 大

2014 年 9 月 22～26 日、2015 年 3 月 2～9 日の二回にわたってスラブ・ユーラシア研究センターに滞在し、当初の目的のとおり、同センター、ならびに北海道大学附属図書館所蔵の資料の閲覧・収集にあたった。

筆者は中世のスラブ語文献、特に古教会スラブ語や教会スラブ語の各地域ヴァージョンが分かれて定着していく時期の諸文献に見られる動詞のアスペクトに関心を持ち、ある意味でアスペクトがあからさまに対立する命令形(とその代用表現)に注目して研究を行っている。

今回は主に、筆者の所属している機関では見ることの難しい書籍・研究論文類を閲覧した。また、当該テーマに直接関係しないものであっても、筆者の関心に関係があると思われたものは積極的に閲覧した。申請書に書名を挙げた上で、実際に閲覧させていただいたものの中には実物を見なければどのような性格の文献なのかがわからないものなどもあり(学術的な翻訳・訳註であろうと想像していたら実は訳読用の教科書であったものなど)、期待を裏切られたものの中にはあったが、実物を閲覧することができなければわからなかったことであり、このような機会を得られたのは貴重な経験であった。

書籍に関しては具体的な書名をあげるのは煩雑となるので、省略させていただく。
利用させていただいた主な学術雑誌類は以下のとおりである。

- Listy filologické
- Český časopis historický
- Revue des Études Byzantines
- Zeitschrift für Slavische Philologie

今回利用させていただいた文献類を今後の研究に役立てたい。なお、申請書に利用したい旨を当初記していた *Сборник Отделения русского языка и словесности Императорской академии Наук* に関しては十分な時間を割いて閲覧することができなかった。他日を期したい。

二度に渡る滞在中は静かな環境の中で落ち着いて閲覧・調査をさせていただくことができた。今回の滞在中、筆者のために北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター事務室の原田千里さんが手厚いサポートをして下さった。また同センター事務室ならびに図書室の職員の皆様、附属図書館の職員の皆様にも様々な面でのご配慮・ご協力を頂いた。皆様に厚くお礼申し上げたい。